

原子力発電所に係る法定検査の  
偽装に関する申し入れ

電気事業連合会

会長

勝 俣 恒 久 殿

全国原子力発電所所在市町村協議会

# 原子力発電所に係る法定検査の 偽装に関する申し入れ

今般、東京電力㈱の原子力発電所における安全設備に係わる法定検査偽装の事実が明らかになった。

過去のことは云え、安全規制の根幹を揺がす不正行為が行われていたことは、厳格な検査の前提である信頼を裏切るとともに、原子力発電所に対する国民の信頼失墜はもとより、立地地域住民の安全をも脅かし、国の検査制度のあり方に大きな疑念を抱かせるものであり、極めて遺憾である。

今、国においては原子力政策に積極的に取り組み、定期検査の柔軟化等を目指した新たな検査制度の検討も進められているが、立地地域住民が最も望むのは原子力発電所の安全運転であり、些かも安全性が損なわれることがあってはならない。

国の繁栄や国民生活に不可欠な電力安定供給の重要な一翼を担う原子力事業者においては、課せられた使命と社会的責任の重要性を深く認識し、高い理念をもった原子力安全文化を構築され、国民が信頼し安心できる徹底した安全最優先の運営管理を行うよう強く求める。

平成19年2月22日

全国原子力発電所所在市町村協議会  
会長 敦賀市長 河瀬 一治